

あいめーる

SPRING

愛隣館通信

令和3年5月17日発行
発行
社会福祉法人 愛隣園
障害者支援施設 愛隣館
発行責任者 三浦貴子
編集 広報チーム
キャリアビジョン

〒861-0551
熊本県山鹿市津留 2022
TEL 0968-43-2771
FAX 0968-43-2793
http://aileans.com
E-mail
ailinkan@magma.jp



内覧会：ウッドデッキにて

勿論、陽性者が出ないのが一番の願いです。今後この居室は、文字通り多機能的に活用していく予定とっております。

その通知に従い、初期の隔離スペースを別に設ける考え方に切り替え、簡易居室を設置する案を練り始めました。検討の上、隔離を余儀なくされる方が少しでも不安を和らげる効果を期待し、ログハウス風の建物を準備する方向で進めてまいりました。



西側棟の内装：トイレ・洗面台・シャワー付き居室

四月十五日(木)、愛隣工房とデイケアを挟む中庭に二棟完成した多機能型簡易居室の内覧会を開催しました。
この居室は、熊本県新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金(障害福祉サービス等分)を活用した『感染発生時対応・衛生用品保管等に柔軟に使える多機能型簡易居室』です。
当初、万が一愛隣館の入所者に新型コロナウイルス感染症の陽性者が出た場合のゾーニング(案)は、即座に通所の生活介護を休業しレッドゾーンとして仕切るものでしたが、令和三年一月七日付厚生労働省通知で、「感染予防を徹底して可能な限りサービスを続ける」ことが要請されました。
その通知に従い、初期の隔離スペースを別に設ける考え方に切り替え、簡易居室を設置する案を練り始めました。検討の上、隔離を余儀なくされる方が少しでも不安を和らげる効果を期待し、ログハウス風の建物を準備する方向で進めてまいりました。

事務長 富田 芳博

多機能型簡易居室の設置について



館長 三浦 貴子

この四月、愛隣館では市の委託により、基幹相談支援センター「ディア」を開設することができました。精神保健福祉分野を専門とする新しいスタッフ一名の戦力を得、障害児や重度障害者のケア経験と、これまで一般・計画相談支援に従事してきた三名のスタッフで四人体制を作っています。

この基幹と、従来の愛隣館相談支援事業所（計画相談・地域移行支援・自立生活援助）が連携して、地域生活支援拠点の役割を推進するのが目標です。

相談支援専門員として養成し、経験を積むには時間が必要です。これまで、相談支援事業所の経営の難しさもありました。しかし、記録等で知る限りでも、極めて困難な生活実態をサポートする、無くてはならない地域資源だと思えます。

何より、スタッフが資格取得と実務に励む中から様々な力を得ている、愛隣館の権利擁護研修等にも不可欠な人材となってくれています。職種やセクションを超え、共通基盤を築いていくことは喜びです。

また以前より、相談では障害のある社会福祉士等三名が、ピアサポートを行っています。四月報酬改定の新加算でピアサポートが評価されるよう

になり、今後、重度障害者の方々の働く場が、障害福祉サービス事業所に広がる可能性が生まれたと期待しています。

「女性も、男性も、障害のある人も、高齢者も、一度失敗した人も皆が共に働ける社会づくり」というスローガンを見たことがあります。共感しました。持続可能なサービスのための職場づくりに向け、内なる目標としています。

「コロナ禍の中、福祉介護人材確保の困難は続く中、私たちは三十三回目の新年度を迎えました。これまで大きな事故やトラブル無くサービスを続けてこれたのは、利用者・家族の導きとスタッフの努力、そして温かい地域と関係団体のおかげと感謝するばかりです。これからも、どうかよろしくお願いします。」

新しい仲間

デイケア



山住 勝博

令和三年一月六日より、毎週水曜日にデイケアを利用している山住勝博と申します。和水町から来ます。

けがをして六年位になりますが、話しは出来そうです。で気楽に声をかけてください。

リハビリをしたいので頑張ります。どうぞよろしくお願いします。

入居者 森慎二郎

皆さん初めまして。十二月二十三日に入居しました森慎二郎です。昭和三十六年生まれです。

最初は、慣れない事がいっぱいでした。今は、少しずつ新しい生活に慣れ、楽しんでいきます。日中活動にも参加して、皆さんと仲良くなりたいので、これからよろしくお願いします。

(代筆) 史 興宝

愛隣倶楽部

米岡 多賀良



四月から愛隣倶楽部にお世話になっています。米岡多賀良です。今年の三月に、黒石原支援学校を卒業したフレッシュな十八歳です。

住んでいるところは菊鹿町で、近くには鞠智城があり、とても良い場所です。庭から鞠智城を見渡すことができます。ぜひ、魅力あふれる菊鹿町に来てください。

僕はテレビを見るのが大好きです。その中でも「秘密のケンミンSHOW」がお気に入りです。好きな特集は、焼きそばなどおつまみ系で、爆笑問題の田中さんと久本さんの駆け合いも見ていておもしろいです。

これから愛隣倶楽部で、フレッシュさを忘れずに楽しく活動していきたいと思えます。皆さん、宜しくお願いします。

新人職員紹介



ケア課

栗原 杏佳

こんにちは、私は昨年の十二月よりケア課でお世話になってる栗原と申します。

介護の経験は少しだけありますが、愛隣館では分からないことがたくさんあり、不安もありましたが皆さんに助けていただきながら少しずつですが仕事を覚え慣れてきました。

利用者のニーズを聞き取り、寄りそった介護をしていきたいと思えます。

どうぞよろしくお願い致します。

相談支援専門員



三角 淳子

初めまして、四月一日より山鹿市基幹相談支援センター「ディア」の相談支援専門員を務めております三角と申します。よろしくお願い致します。

私は、精神保健福祉士と社会福祉士の資格を取得し、山鹿で約十年間精神科医療と障害福祉の分野でソーシャルワーカーをした後、今年三月まで大学のスクールソーシャルワーカーに従事しております

た。今後は、誰もが住みやすい山鹿づくりに貢献するため、これまでの経験を活かして頑張ります。不慣れなことが多く、ご迷惑をおかけすると思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

愛隣館自家発電機を設置

副施設長 田中 裕一

令和元年度熊本県障がい者施設整備費補助金事業により非常用自家発電設備工事を行いました。

令和二年七月六日に入札を行い七月二十二日(着工)から令和三年二月二十六日(竣工)の工事期間を経て施工終了しました。近年、風水害、地震などの大災害の発生が多くみられます。

完成を機に非常時の電源確保が出来るようになり、利用者の生活がより安心して安全なものとなりました。



デイケア花壇が移動

簡易居室建設に

ともないデイケアの園芸で使われていた花壇が二月十二日(金)、三号館の南庭に移動しました。



職員が、頂いた木材を活用し、木の枠で四段の高さに組んだ花壇を四つ設置。内の二つをデイケアが利用しています。手作りの花壇は、木の枠を高く組んでいるので車イスでもお手入れがし易くなりました。

利用者からは、「今までの花壇より扱い易いので楽に園芸に取り組める」と喜びの声も聞きました。

山鹿市基幹相談支援センター「ディア」開設

主任相談支援専門員 伊藤 裕之

この春、四月より愛隣館では、山鹿市障害者相談支援事業の委託を受け、山鹿市基幹相談支援センター「ディア」を開設致しました。

このセンターは、障害が有る方、またはご家族等からの様々な相談に対応する、地域に密着した身近な相談窓口です。暮らしの上の困りごとをお聴きし、

解決に向け一緒に考え歩みます。併せて、山鹿市や各種関係機関と連携し、障害の有無にかかわらず、「誰もが住みやすい山鹿」づくりを目指し、地域福祉を推進していきます。場所は、地域活動支援センターぴあぴあをリニューアルし、新たに『ディア』を併設いたしました。



左より：松永清孝・松本薫・伊藤裕之・三角淳子

相談内容等、秘密は守ります。まずはお気軽にご相談ください。

【お問い合わせ先】
山鹿市山鹿1番地温泉プラザ山鹿3階
相談員・伊藤裕之 三角淳子 松永清孝 松本薫
電話：(0968) 41-7770

避難訓練に参加して思うこと

ケア課 高野 まゆみ

三月二十五日(木)、一号館の100号室を火元に夜勤帯を想定した避難訓練が行われました。火災報知機の大きな音が鳴り出すと、ドキッと消防署の立ち合いという事もあり、緊張感はマックスです。入居者の避難誘導はスムーズに終わり、ほ

つとして：防火扉をひとつ閉め忘れていました。シヨックでした。実際の火災だったらと想像するとゾッとしました。

訓練を終えて感じた事は、訓練を重ねることは、防火、防災への意識改革、危機管理意識の向上につながり、実際に火災や災害の緊急時に落ち着いた行動が出来るのだと思いました。



労働安全衛生委員会

令和三年二月は「健康診断の事後措置」について委員会内で協議を行い、三月は「転倒を未然に防ぐには」をテーマに理学療法士より講話。転倒予防のコツの伝授がありました。

令和三年年度の労働安全衛生委員会は新たなメンバーでスタートします。今年度も引き続き色々なテーマについて取り組み、より良い職場環境作りをめざしたいと思っております。

ヒューマンライツ委員会

ヒューマンライツ委員会では昨年度の協議事項をまとめ、丁寧な支援を誇りとして業務にあたるためのポイントをまとめ、ポスターを作成し啓発して

います。

今年度は新しい委員を加え、これまで通り利用者のご意見や声への対応を継続するとともに、内部研修や身体拘束の適正化、接遇の強化キャンペーンなど取り組み方針で活動を開始しています。スタッフ全員で権利や人格をより尊重した支援ができるよう努めて参ります。

お知らせ

◆ 今年度自治会役員紹介

会長：福原 隆博 ・ 会 計：猪股 敦

「今年度より会長を務めることになりました福原です。どうぞ宜しくお願い致します」

◆ ギャラリーウォールぴあぴあ開設

地域活動支援センターぴあぴあがリニューアルオープンに際し、障害のある方々や地域の方々の作品を展示するためのギャラリーウォールぴあぴあを開設しました。



『あいめーる』の企画・編集は利用者で構成された広報チーム、キャリアピジョンが担っています。